

授業科目	社会的養護Ⅱ				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH21317J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP3-2 DP5-3			
担当教員	笠 修彰							
授業概要	社会的養護を必要とする子どもについて学びを深め、社会的養護の現状と課題を理解する。また、施設養護および家庭養護の様々な事例を通して、具体的な子どもの生活や援助、家庭支援の方法について学習する。さらには、社会的養護における計画、記録、自己評価の実際について学び、その重要性についての理解を深めたい。							
学生が達成すべき行動目標	1.子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解することができる。 2.施設養護および家庭養護の実際について理解することができる。 3.社会的養護における計画、記録、自己評価の実際について理解することができる。 4.社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法、技術について理解することができる。 5.社会的養護における児童虐待の防止と家庭支援について理解することができる。 6.援助者としての倫理・人間性と専門性の向上に努めることを学び理解することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	30	40	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10	10	20		40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			10	10	10		30	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)			10	10	10		30	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
社会的養護が必要される子どもに対して保育士が援助を行うことの意義、援助者に求められる具体的な役割や技能を深く理解すると同時に、他者に正確に説明することができる。 援助を行う上で援助者に必要となる人間性や倫理観、また専門性の向上に努めることの重要性について深く理解し、それを自らも培っていこうとする態度や姿勢を持つことができる。				社会的養護が必要とされる子どもに対して保育士が援助を行うことの意義、援助者に求められる具体的な役割や技能を理解することができる。 援助を行う上で援助者に必要となる人間性や倫理観、また専門性の向上に努めることの重要性について理解することができる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション 授業概要のオリエンテーション。社会的養護の現状、子どもと家庭を取り巻く社会環境の変化について学習する。	講義	予習:シラバスを事前に通読する。	30
2	テーマ:施設養護の実際 1 乳児院、母子生活支援施設における事例を通して援助の実際を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
3	テーマ:施設養護の実際 2 児童養護施設における事例を通して援助の実際を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
4	テーマ:施設養護の実際 3 児童自立支援施設における事例を通して援助の実際を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
5	テーマ:施設養護の実際 4 児童心理治療施設、障害児入所施設における事例を通して援助の実際を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
6	テーマ:施設養護の実際 5 自立援助ホームにおける事例を通して援助の実際を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
7	テーマ:家庭養護の実際 里親家庭における事例を通して援助の実際を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
8	テーマ:社会的養護における支援の計画 個々の子どもに応じた自立支援計画、養護計画の作成と留意点について学習する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
9	テーマ:記録および自己評価 援助におけるアセスメントと記録の方法について学習する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
10	テーマ:被虐待児への支援 被虐待児への支援の実際を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
11	テーマ:社会的養護における専門機関の連携 児童相談所をはじめとする様々なネットワークの実際を学び、連携のあり方等について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
12	テーマ:社会的養護における家庭支援 施設と関係機関との連携、協働による子どもと家庭への支援のあり方について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
13	テーマ:地域ネットワークの形成 児童相談所、各校、幼稚園、保育所、病院、福祉事務所など地域のネットワークづくりを考察する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60

14	テーマ:さまざまな職種間のチームワーク ソーシャルワーカー、心理士、家庭支援専門相談員、 看護師など他職種連携の重要性について考察する。	演習	復習:板書、配布資料を整理 し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り 返し、授業に備える。	60
15	テーマ:まとめ 本科目での学びを振り返り、総括する。	講義	復習:板書、配布資料を整理 し、要点をまとめる。	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	「こども家庭福祉」「社会福祉」「社会的養護Ⅰ」に深く関連しています。復習しておくこと。			
テキスト	特に使用しません。適宜関連資料を配布します。			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	吉田眞理編『児童の福祉を支える(演習)社会的養護内容』萌文書林 伊達悦子・辰己隆編『保育士をめざす人の社会的養護』(株)みらい その他参考図書については、授業のなかで紹介します。			
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	本科目は、主に演習形式で展開していくため、授業参加にあたっては自主性、主体性をもって積極的に取り 組む姿勢が必要となります。 授業に臨むにあたり、予習、復習を心がけましょう。また、日頃から新聞やニュースなどに親しむことを通し て、保育を取り巻く現状に実践的関心を持ちましょう。			

達成度評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"><li>・レポート外提出物は授業で作成したノートです。</li><li>・レポートは誤字・脱字がないか、文章の書式が正しいか、レポートとしての体裁が整っているか、参考資料・授業内容等を参照し考察を進めているか、自分なりの考察を筋道立てて展開しているかに注目して評価します。</li><li>・発表については、課題の趣旨の理解および発表メンバーの協働に注目して評価します。</li></ul>
---------------	---